

CNCP 通信

VOL.132 / 2025.4.5

■ 今月の土木 ■



【上】浜町エリアマネジメント「月末交流会」
【右】「浜町きれいプロジェクト」の清掃活動



▼土木に関わる人と活動

▽つなぐ活動

・土木を身近に楽しく感じて欲しい～ 防災教育ボードゲーム ドボ・シティ開発のお話 Vol.1 ～
：福田悠太

・土木コミュ+IP（インフラパートナー）5：田中努

▼フレンズ

・「日本橋浜町エリアマネジメント」に参画し、まちの価値向上・活気あふれる地域活動を推進支援：小野寺仁

▼事務局通信

■日本橋浜町界隈をより魅力的なまちにする挑戦への参画

株式会社建設技術研究所の本社は、東京都中央区日本橋浜町にあります。隅田川沿いの日本橋エリアの一角に位置し、下町風情がかすかに残る趣深い街並みに、最近では暮らしを彩る新たなカルチャースポットが続々と生まれています。昔からいる人々、新しく集まってきた人々、それぞれが繋がりながら、今までの歴史、伝統を引き継ぎ、変化し続けています。

『一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント』は、日本橋浜町界隈をより魅力的なまちにしようと地元町会、商店街、当社を含めた企業、住民が参画し、まちの価値向上や活気あふれる地域活動に取り組んでいます。

（小野寺仁）

▼フレンズコーナーに続く



▼土木に関わる人と活動/つなぐ活動

土木を身近に楽しく感じて欲しい

～ 防災教育ボードゲーム

ドボ・シティ開発のお話 Vol.1 ～

ドボ・シティ制作チーム
日本工営株式会社

土木学会 2023 年度会長プロジェクト 土木の魅力向上特別委員会 元委員

福田 悠太



■きっかけ

土木の会社に所属しつつ、実は環境部に所属しており、水に関するお仕事を生業にしております。このボードゲームの製作の前から「建設コンサルタンツ協会 若手の会」に所属をし、業界のアピール等に関して何かできないだろうかと活動をしておりました。そんな中、土木学会 2023 年度会長プロジェクトが立ち上がると HP で発表されていることを見つけ、応募いたしました。

実際にプロジェクトが立ち上がると、当時小委員長であった松永昭吾氏（「デミーとマツ」のマツさんです）から、マツハラ…いや、ご指名を受けてプロモーション課というインターネットを使わないで土木の魅力を発信するグループのリーダーに指名いただきました。これが全ての始まりでした。

■プロモーション課

では、実際のプロモーション課の課長として、メンバーの意見を聞いて何をしようという事から立ち上げていきました。当初は、約 10 名のメンバーがいらっしゃったと思います。みなさん、やりたいことが多岐にわたっていたので、リソースが足りるのかが不安でした。みなさん、出前授業、インフラツーリズムの開催、おもちゃ開発、フード開発等…と土木をアピールするために、やりたいことがたくさんあるんだと、改めて思いました。

その中で、最終的に主要メンバーとして残ったのは、私を入れて 3 名！（大成建設株式会社 中島さん、葭田さん。後日、お二人の目線でまたドボ・シティについて語ってもらいます）、になりました。この 3 人で共通してやりたかったことは、ボードゲームの作成でした。この想いが、ドボ・シティの誕生になったと思います。



メンバーとテストプレイ



会議は主に地理カフェさん



ドボ・シティ誕生！！

■ドボ・シティ開発のコンセプト

ドボ・シティは土木学会開発の「ポケドボ」の流れを踏襲していますが、もっと「ポップに」「楽しく」「ゲーム性を高く」を目指した、エンタメ性を重視したゲームに仕上がっております。

真面目なお話をしますと、土木業界のアピールは、「内輪」に向けた発信がものすごく多かったイメージが強かったと思っております。これが、土木のアピールが上手くいっていないような印象を抱いていました。今回、この魅力発信のプロジェクトを行うときには、日本の「大学でのコースにより将来進路が殆ど決定してしまう現状」を鑑みて、「土木のある大学を目指す学生さんに刺さるアピールをしよう」と考えておりました。そのため、ドボ・シティは 10 歳以上の学生さんをターゲットとしたゲームと難易度調整をした経緯があります。実際、小学生の方に触っていただいていたいただけました！



初イベント参戦で浮かれています



展示ブースで我々とお対戦！



メディア（建設工業新聞）掲載

■開発エピソード

上記のコンセプトをドボ・シティとして実現するにあたって、私と中島さんだけではどうしても実現できなかったのが、やはりかわいいイラストでした。このデザインは葎田さんのオリジナルで、葎田さんの想いが乗っているデザインです。逆に、チームにこのデザインの能力をもっている葎田さんがいたことにより、ドボ・シティが誕生したといっても過言ではないです。

開発期間については、プロモーション課として諸々のプロジェクトを調整しながら開発を行っていたのですが、本格着手をしたのは 10 月位。そこから、テストプレイ、調整、テストプレイ…の連続で、2024 年 2 月に世の中にリリース！として、土木学会にてお披露目会までこぎつけました。



お披露目会の様子



カードはかわいいデザイン



面白過ぎてごめんなさい…



QRはこちら

その後は、試作版を作成、2024 年 6 月に横浜市水道週間イベントにて一般市民の方に触っていただき、その後は北海道土木・建築未来技術展 2024、出雲河川事務所、建設技術展 2024 関東、2024 大戸川ダムフェス、FCC どぼくカフェ等でどんどん一般市民の方に広めております。

さらに、YouTuber であり、株式会社株新庄砕石工業所の取締役でもある柿崎さん（通称 石男くん。昨日よりも面白く！）の協力のもと、2024 年 12 月に全国の 162 の工業高校にドボ・シティを配布しており、早速授業で取り扱っていただき、生徒さんから反響があったと嬉しい報告を頂いております。



北海道土木・建築未来技術展



建設技術展 2024 関東



FCC どぼくカフェ

■今後

ドボ・シティについては好評をいただきまして、おかげ様で 1000 部発行達成いたしました！！

2025 年 2 月現在まだストックがあり、販売中でございます。様々なイベントの他、下記 QR から問い合わせ可能ですので、是非手に取っていただけたらと思います。

今後は、ドボ・シティしよっぜ？ が全国…全世界に広がって、土木をより身近に感じていただける人が増え、業界が活性化していったら嬉しいと思っております。

今度、私たちとドボ・シティしましょう！！



問い合わせ先 QR



▼つなぐ活動

土木コミュ+IP (インフラパートナー) 5

土木と市民社会をつなぐフォーラム&土木学会インフラパートナーG 幹事長
シビルNPO 連携プラットフォーム 常務理事&事務局長
(メトロ設計 取締役)

田中 努



■土木広報戦略会議

土木学会企画戦略グループのコミュニケーション部門が毎年1回「土木広報戦略会議」を開催します。会議の委員長は土木学会副会長で、産学官と多くの土木関係の協会等、計33団体の代表委員で構成されています。私もオブザーバーで参加させていただいています。

2025年1月31日の会議では、①土木学会外の団体から、国土交通省・日本建設業連合会・土木技術者女性の会・日本トンネル専門工事業協会・JR東日本・鹿島建設・竹中土木の7団体の土木広報活動が紹介され、②土木広報センターの活動と、③土木学会支部から北海道・関東・中部・関西・中国・四国の6支部の活動紹介がありました。

いずれも、ホームページやFB等で、閲覧することが出来ますが、知らない方も多いと思うので、本号で上記の③の紹介をします。詳しくは、各支部のサイトをご覧ください。

■土木学会「北海道支部」の活動

●土木の日記念講演会：一般向け

・「北海道ボールパークF ビレッジ：ファイターズの球場を起点としたまちづくり」

●親子見学会：親子向け

・豊平峡ダム
・雁来排水機場・雁来河道掘削工事

・創成川水再生プラザ（札幌市）

・道央圏連絡道路（国土交通省北海道開発局）

●書道展の作品展示・表彰：小・中学生向け

・応募は150作品、令和6年11月15日(金)～22日(金)まで函館市役所2階に展示、39名を表彰

●「土木の日」イベントの開催：親子向け

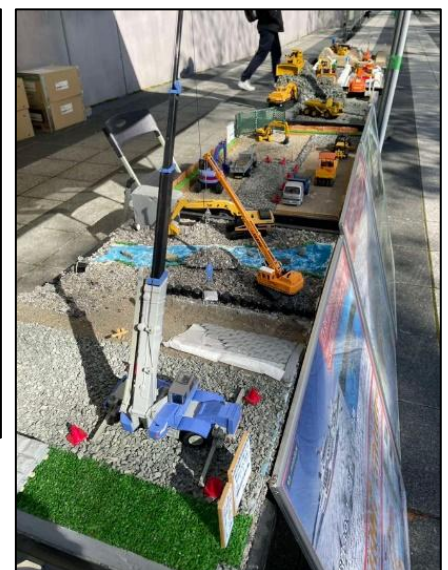
・土木工事現場のジオラマや災害等のパネル等を展示、子供向けの縁日やPRグッズの配布、土木工事の説明など



書道展展示・表彰状況



「土木の日」イベントの様子



■土木学会「関東支部」の活動

●現場見学会：一般向け

- ・東名高速道路(特定更新等)所領橋他2橋床版取替工事（神奈川県）
- ・東名高速道路(特定更新等)酒匂川橋他2橋床版取替工事（神奈川県）

●親子見学会：親子向け

- ・王子給水所（仮称）配水池築造工事（東京都）
- ・R4 圏央道上蛇高架橋上部その1工事（茨城県）

●技術研究所見学会：近隣小学校の児童向け「土木のある風景」写真コンテスト：会員交流促進

- ・受賞作品でカレンダーを作成予定



現場見学会・親子見学会の様子



土木のある風景カレンダー2024

■土木学会「中部支部」の活動

●市民見学会：一般向け（13名）

- ・四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区 W81 号岸壁（三重県）
- ・東海環状自動車道（田切川橋）（三重県）

●親子ふれあい見学会：親子向け（26名）

- ・中部国際空港 滑走路・ターミナルツアー（愛知県）

●土木技術者と学生の交流会：学生向け

●エクスカージョン（体験型見学会）

- ・教職を目指す学生向け

●出前講座や選奨土木遺産のパネル展示

- ・認知度向上、担い手確保



市民見学会・親子見学会の様子

■土木学会「関西支部」の活動

●土木の日ポスター

・募集テーマ：土木がかなえる明るい未来 ～まち・道・鉄道・港・空港・エネルギー～

・応募は全国から 167 作品（子供部門 108 作品、一般部門 59 作品）

●FCC フォーラム「道マニア四天王が語る！ 道と人をつなぐ未来の風景」～共に語り、共に創る、新たな道の可能性～を開催

●建設技術展 2024 近畿 へ出展

●どぼくカフェ 58 土木カードゲーム「ドボ・シティ」で遊んでみよう を開催

●ぶら・土木 43 祝！甲子園 100 周年 憧れの聖地を支える土木を学ぼう を開催

●阪神・淡路大震災から 30 年 を開催

■土木学会「中国支部」の活動

●見学会（バスツアー）：親子向け

・呉トンネル建設現場

・呉ポートピアパーク

●「身近な土木を描いてみよう！ 図画コンクール」開催（17 回目）

・中国 5 県の小中学校に依頼をし、908 枚の応募があった

・各地で表彰式、展示会を開催した

・優秀作品を掲載した、2025 年のカレンダー作成



土木の日ポスター



見学会の様子



優秀作品 2025 年カレンダー



各地での表彰式・展示会の様子

■ 土木学会「四国支部」の活動

● 土木の日記念講演会：一般向け

- ・「これまでの土木のかかわりと土木技術者の使命役割」

● 見学会（バスツアー）：親子向け（64名）

- ・ 大鳴門橋
- ・ 僧津山トンネル

● 四国の土木コレクション&土木遺産パネル展：一般向け

- ・ 令和6年11月14日（木）～22日（金）まであすたむらんど徳島に展示



見学会（バスツアー）の様子



パネル展の様子

▼フレンズコーナー

『日本橋浜町エリアマネジメント』に参画し、
まちの価値向上・活気あふれる地域活動を推進支援株式会社 建設技術研究所
東京本社 都市部 PFI・PPP 室
室長

小野寺 仁



■株式会社建設技術研究所の地元地域活動への参画

「一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント」は、日本橋浜町界隈をより魅力的なまちにするため2020年4月に設立され、今年で活動から6年目を迎えます。主な活動は「まちの交流促進」「まちのプロモーション」「まちの環境整備」です。

当社は、正会員として浜町エリアマネジメントの活動について、他の会員と一緒に推し進め、支援しています。今回は、当社ならではの取組をご紹介します。

■地域情報誌『BRIDGE』にてドボク知識を発信！

地域情報誌『BRIDGE』では2022年7月より当社のコーナー『暮らしとドボク』にて「浜町での暮らしに役立つであろうドボク知識」を発信しています。2024年は、以下の4つテーマについて発信しました。

地域情報誌で発信した土木知識のテーマ

号No.	テーマ
No.027	インフラを支える陰の立役者。「情報・電気通信」はどの分野にも欠かせない。
No.028	すべての道にストーリーがある！ 道路設計は生活の基盤を想像する仕事
No.029	地質と向き合い、暮らしを守る“緑の下の力持ち”
No.030	土砂災害の被害を未然に防ぐ。砂防分野のエキスパート

■『浜町ベジフェス2024』でCTIフロンティアの野菜を販売！

「や・さ・い」の日にちなんで、2024年8月31日に当社と同じ正会員のカゴメ株式会社協賛のもと、『浜町ベジフェス2024』が開催されました。「やさい」がテーマであることから、当社からは、当社グループ会社のCTIフロンティアが生産した野菜販売コーナーを設けました。当日はCTIフロンティア久喜農場で栽培された「枝豆」と「空芯菜」を販売。多くの方にご来場いただき、当社の「空芯菜」は早々に完売し、大変好評をいただきました。



CTIフロンティア栽培の空芯菜と枝豆

■武蔵野美術大学との「産学連携防災プロジェクト」の実施！

浜町界隈の災害、防災対策をテーマに、武蔵野美術大学との「産学連携防災プロジェクト」を実施しています。2023 年は、武蔵野美大の授業で検討した成果をもとに、1 月の浜町マルシェに防災ブースを出店しました。地域の文化を活かしたオリジナルモノグラムの制作や浜町の未来を描くワークショップを実施。多くの子供たちが参加し、地域の方に話しかける機会を創出。地域の方向士が話す機会を創出。初対面の住民同士の会話につながる場面が随所に見受けられ、緊急時に大切なコミュニケーションづくりを体験していただきました。



浜町マルシェ（防災ブース）の様子
（2023 年実施）

2024 年は、9 月 25 日の「日本橋浜町エリアマネジメント協議会」において、浜町を舞台に行うプロトタイプの提案を行いました。また、10 月にはトルナーレ日本橋浜町の広場にて実証実験を行い、地域の方々に多く参加していただきました。



協議会でのプロトタイプの提案の様子
（2024 年実施）

■トルナーレ緑道整備プロジェクトにおける社会実験の開催！

清洲橋通りを挟んで当社の向かい側にある「トルナーレ」に隣接する緑道（区道）において、「安心・安全に通行できる、賑わい空間の創出」を図るための「緑道整備計画」の社会実験を 2023 年 4 月に実施しました。この社会実験において、当社は「AI カメラ」を設置し、人流データの取得、解析等を行い、整備前の現況把握および社会実験の効果検証を実施しました。



社会実験の様子



AI カメラで取得した人流属性映像

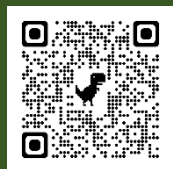
CNCP は、
あなたが参加し、
楽しく議論し、
活動する場です。

お問い合わせは下記まで

特定非営利活動法人
シビルNPO
連携プラット
フォーム

●登録事務所
〒110-0004
東京都台東区下谷
1丁目11番15号
ソレイユ入谷

事務局長 田中 努：
cncp.office@gmail.com
ホームページ URL：
<https://npo-cnnp.org/>



▼事務局通信

■3月の実績

●第131回経営会議

開催日・場所：3月11日（火）アイセイ(株)会議室
議題：各事業の進捗/サロンの計画/今後のCNCPの活動

■4月の予定

●第132回経営会議

開催日・場所：4月11日（金）アイセイ(株)会議室
議題：学生を交えてのワークショップ「学生・企業人・アカデミアが重なり合ってグラデーションができる！」

■現在の会員と仲間の数

●会員：賛助会員 30/法人正会員 9/個人正会員 23/合計 62
●仲間：サポーター99/フレンズ 135/土木と市民社会をつなぐフォーラム 15/インフラパートナー18/合計 267

●CNCPの活動には下記の賛助会員の皆さまのご支援をいただいています（50音順・株式会社等省略）。

アイ・エス・エス/アイセイ/安藤・間/エイト日本技術開発/エヌシーイー/奥村組/オリエンタルコンサルタンツ/ガイアート/熊谷組/建設技術研究所/五洋建設/佐藤工業/シンワ技研コンサルタント/スバル興業/セリオス/第一復建/竹中土木/鉄建建設/東亜建設工業/東急建設/ドーコン/飛島建設/土木学会/西松建設/日本工営/パシフィックコンサルタンツ/フジタ/復建エンジニアリング/復建調査設計/前田建設工業（以上30社）



土木と市民社会を
つなぐフォーラム



インフラパートナー
JSCC 土木学会